

当院でのアルツハイマー病治療薬ドナネマブ（ケサンラ®）について

ケサンラの治療をご検討されている

ご本人様とご家族様へ

以下の内容のご理解をお願いいたします。

ケサンラについて

アルツハイマー病はアミロイドβというたんぱく質が脳の中に蓄積することで、神経細胞の働きが悪くなり、最終的には神経細胞が死に至り、物忘れや日常生活の自立の障害などの症状が出る病気です。

ケサンラは、アミロイドβに対する抗体（体の中の異物を排除するために異物に付ける標識のようなもの）です。ケサンラの投与によって、脳内に異常に蓄積しているアミロイドβを除去し、それによって進行を遅らせる効果が期待されます。

当院では2025年8月より導入となっています。

治療の目的

ケサンラにはアルツハイマー病の進行を止めたり、認知機能を改善させたりする効果は認められていません。

☞ **約35%前後の進行抑制効果(18か月)が報告されており、進行速度を緩やかにすることが期待されます。**

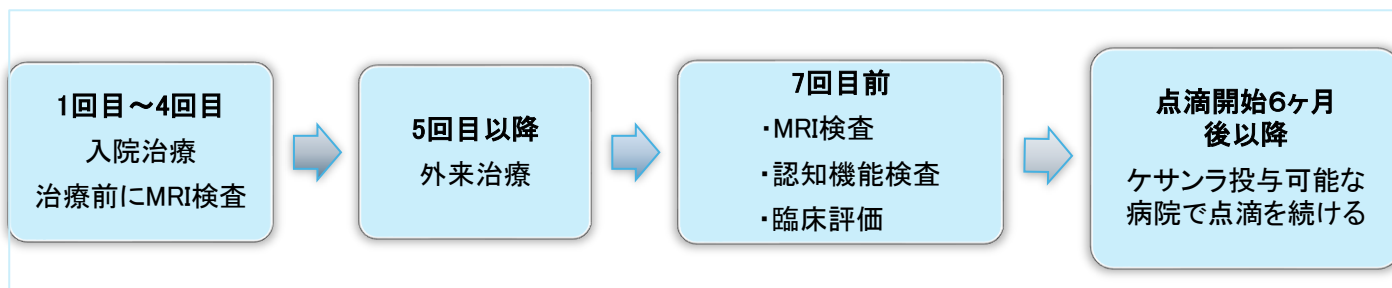
治療のスケジュール

4週間に1回、30分～1時間かけて点滴します。

当院では安全に行うために、1回目～4回目の点滴は原則として2泊3日の入院治療で行い、5回目以降は外来で行います。

副作用発現が投与開始後12週間以内に多いことから、2～4回目投与前と7回目投与前に頭部MRI検査での観察を行います。また、治療開始後12ヶ月後を目安に認知機能検査と臨床評価・頭部MRI検査を行い、治療効果の評価を行います。

点滴開始6ヶ月後以降の治療は、最寄りのケサンラ投与可能な病院に移り、引き続き4週間に1回点滴を受けていただきます。



12ヶ月後アミロイドPET検査を行い、アミロイドβプラークが除去されていることが確認されたら、投与は完了となります。確認されなくても原則として18ヶ月で完了の予定です。

ケサンラによる副作用

点滴に伴う反応（頭痛、悪寒、発熱、吐き気、嘔吐などの症状）や脳出血と脳浮腫が起こる可能性があります（脳出血の発現割合は30%、脳浮腫の発現割合は20～25%程度）。

治療にかかる費用

外来治療段階で支払う費用は、公的医療保険と医療費助成制度（高額療養費制度や自立支援医療制度など）により助成を受けることができます。

その他画像検査料や再診料、入院費用などが加算されます。

ケサンラ開始までに必要な検査

ケサンラの治療を安全に受けるために、脳内に目立った出血の痕や浮腫がないことなど、厚生労働省が作成した『最適使用推進ガイドライン』が定める条件を満たすかどうかを確認し、投与が適切であるかを判断します。

アルツハイマー病であるかの鑑別診断に加え、アミロイドβの蓄積があるかの検査（脳脊髄液検査またはアミロイドPET検査）、副作用リスク予測の検査（APOE遺伝子多型検査）などを約1ヶ月間で行います。

検査の流れ

鑑別診断検査

・神経心理検査、頭部MRI検査、脳血流SPECT検査などを実施します

アルツハイマー病が疑われ、ケサンラによる治療を希望される場合

・APOE遺伝子多型検査（血液検査）

アミロイドβ検査

・アミロイドPET または 脳脊髄液検査 のどちらかを実施します

ケサンラ使用可否の判定

・ケサンラ治療使用条件を満たしているか否かを総合的に判断します

その他

- ・ 身体にペースメーカーや入れ墨などが無く、頭部 MRI 検査が受けられる事が必要です。
- ・ 脳出血・脳浮腫のリスクを予測するための APOE 遺伝子多型検査（血液検査）を受ける事について、ご検討をお願いします（実費約 2 万 8000 円（27,965 円））
- ・ ケサンラ点滴治療のためにご本人が一人で通院できない場合、ご家族の送迎が必要となります。
- ・ 血圧値や血糖値が安定していることが重要です。
- ・ 血液凝固阻止剤、血小板凝集抑制作用を有する薬剤、血栓溶解剤を服用している方、1 年以内に一過性脳虚血発作や脳卒中、痙攣を起こした方は対象外となる場合もあります。

ケサンラの治療をご検討されている患者様の
かかりつけ医の皆様へ（確認事項）

ご紹介後の診療を円滑に進めるために、ご紹介いただく前に以下の内容に
ついてご確認をお願いします

- 頭部 MRI 検査（1.5tesla 以上）が実施可能である。
MRI 非対応のインプラントやペースメーカーのある方は対象外とさせていただきます。
- 頭部 MRI 検査（1.5tesla 以上）で、明らかな 5 個以上の脳微小出血、1cm を超える脳出血がない。
- 頭部 MRI/MRA 検査（1.5tesla 以上）で、明らかな脳動脈瘤がない。
- MMSE スコアが 20～28 点である。
- 内科的疾患（高血圧、糖尿病など）が安定している。
- 手術など身体的な疾患の治療が予定されていない。

以下の方は、ケサンラ投与対象外となる事もあります

（投与可否を慎重判断または慎重投与事項）

- 血液凝固阻止剤（ワルファリンカリウム、ヘパリンナトリウム、アピキサバン等）、血小板凝集抑制作用を有する薬剤（アスピリン、クロピドグレル硫酸塩等）、血栓溶解剤（アルテプラゼ等）を服用している。
- 1 年以内に一過性脳虚血発作、脳卒中または痙攣を起こしたことがある。

初診の申込について

本院へ事前に FAX でお申込み下さい。初診診療予約をお取りします。

診療予約申込書（FAX 書式）など詳細につきましては、当院ホームページ「医療機関の方へ」をご参照ください。

※ご紹介時には画像検査データ、血液検査データの添付をお願いいたします。